

5-4 こころの診療部

[原著論文]

1. Kasahara M (Inoko K, Nishizono-Maher A, Tani S, Kano Y, Kishimoto J, Hayakawa N, Honjo S, Saito K, Ishii K, Osawa M) : Reliability and Validity of Japanese Version of the Yale Global Tic Severity Scale. A Preliminary Study. Jpn. J. Child Adolesc. Psychiatr. 2006 ; 47 : 38-48,
2. Inoko K., Nishizono-Maher A., Tani S., Kano Y., Kishimoto J., Hayakawa N., Honjo S., Kasahara M., Saito K., Ishii K., Osawa M.: Reliability and Validity of Japanese Version of the Yale Global Tic Severity Scale: A Preliminary Study. Jpn. J. Child Adolesc. Psychiatr., 47 suppl, 38-48, 2006
3. Fujiwara T, Okuyama M, Kasahara M, & Nakamura A : Characteristics of hospital-based Munchausen Syndrome by Proxy in Japan. Child Abuse & Neglect (in Press)
4. Fujiwara T, Okuyama M, Kasahara M, Nakamura A : A Differences of Munchausen Syndrome by Proxy by Predominant Symptoms in Japan. Pediatric International (in press)
5. Murakami Y: L' espace bidimensionnel chez les autistes. Annales de hénoménologie 2008 ; 7 : 157-170
6. 奥山真紀子 : 学校での子ども虐待防止. 精神科臨床サービス 2007; 7 (1) : 97-100
7. 奥山真紀子 : 子どもを代理とするミュンヒハウゼン症候群. 小児内科 2007 ; 39 (5) : 701-704
8. 奥山真紀子 : 性虐待のもたらすものと治療的介入. 精神療法 2007 ; 33 (2) : 150-156
9. 奥山真紀子 : 若年者の性の問題—性的被害を中心に—. 精神科治療学 2007 ; 22 (1) : 1257-1263
10. 藤原武男, 奥山真紀子, 松本務, 有瀧健太郎, 余谷暢之, 宮坂実木子, 仁科幸子 : 2歳未満児の虐待による頭部外傷の診断基準の提案. 日本小児科学会雑誌 2008 ; 112 (4) : 704-712
11. 泉真由子、奥山真紀子 : 保育園・小中学校が抱えるこころの問題を持つ子どもの実態調査. 日本小児科学会雑誌 2008, 112 (3) 476-482
12. 泉真由子、奥山真紀子 : 保育園・小中学校と医療機関の連携に関する実態調査. 2008, 112 (3) 483-488
13. 生田憲正 : 対象の内化化過程から見た思春期の精神発達—第二の個体化過程論とアタッチメント(愛着)研究からの知見—. 母子保健情報, 2006 ; 54:59-63
14. 小泉智恵, 福丸由佳, 中山美由紀, 無藤隆 : 妊娠期の女性の働き方と心理的健康. 子ども発達教育研究センター紀要(お茶の水女子大学) 2007 ; 4 : 1-13
15. 上澤悦子, 中山美由紀, 遊佐浩子, 小泉智恵, 川内博人 : 不妊治療を受けている女性と夫婦を対象としたソリューション・フォーカスト・アプローチによるグループ心

理教育プログラムの効果の検討. 日本不妊カウンセリング学会誌 2007;6:61-62

16. 小泉智恵, 中山美由紀, 福丸由佳, 無藤隆: ライフスタイルと家族の健康の縦断調査第4報—仕事役割と親役割のクロスオーバー—. 日本心理学会第71回大会発表論文集, 東京, 2007

[総説]

1. 奥山眞紀子: 意図的な傷害行為への取り組み. 小児内科 2007;39(7):1031-1034
2. 奥山眞紀子: 乳幼児揺さぶられ症候群. 小児科臨床 2007;60(4):611-616
3. 奥山眞紀子: アタッチメントトラウマ問題. 里親と子ども 2007;2:33-39
4. 奥山眞紀子: 精神保健疾患(虐待など)の世代間伝達. 小児科 2007;48(5):522-526
5. 宮尾益知: 専門医からのちょっと気になる子ども達への支援. 東京小児科医会報 2007;25:18-24
6. 宮尾益知: 小児科質疑応答: 発達障害児への抑制困難時の対応. 日本医事新報 2007;4336:92-94
7. 宮尾益知: 注意欠陥/多動性障害. 小児内科増刊号 2007;38:746-747
8. 宮尾益知: 軽度発達障害 Q & A. 小児内科 2007;39:302-304
9. 宮尾益知: クローズアップ 専門外来. 季刊クリニック 2007;春:6-7
10. 宮尾益知: ADHD 治療における中枢神経刺激薬と副作用リスク. 脳 21 2007;10(3):285-288
11. 宮尾益知: 子どもの心の症状に気づいたら、文字が読めない—ディスレキシア—. 日本医事新報 2007;4344:70-72
12. 宮尾益知: 学習障害. 母子保健情報 2007;55:37-40
13. 宮尾益知: 自閉症の始まりと認知障害仮説. 現代思想 2007;35-6:196-211
14. 笠原麻里: ドメスティックバイオレンスと子ども虐待. 小児科臨床 2007;60:605-610
15. 笠原麻里: 症候からみた小児の診断学. 小児科臨床 増刊号 2007;70:607-611
16. 笠原麻里: 精神発達の視点から見た子どもの自殺行動. トラウマティック・ストレス 2007;5:133-140
17. 笠原麻里: 児童・思春期の境界例. 児童青年精神医学とその近接領域 2007;48:389-398
18. 笠原麻里: 心理療法. 母子保健情報 2007;55:89-94
19. 笠原麻里: 不安. 小児科臨床 増刊号 症候からみた小児の診断学, 70 suppl, 607-611, 2007
20. 村上靖彦: 二次元空間論 自閉症児の描画と知覚. 現代思想 2007;35-7:212-223

[著書]

1. 奥山眞紀子： こどものうつとは？. 氏家武・原田謙・山崎透編, 子どものうつハンドブック—適切に見立て、援助していくために, 診断と治療社, 2007 ; 21-38
2. 奥山眞紀子： 虐待について教えてください. 五十嵐隆編, 小児ケア Q&A, 総合医学社, 2007 ; 180-181
3. 奥山眞紀子： 性的虐待へのケアと治療. 浅井春夫編 広田照幸監修, 子どもと性リーディングス日本の教育と社会 7, 日本図書センター, 2007 ; 248-257
4. 奥山眞紀子： 子どもの心理社会的状況の把握・コラム MSBP・コラム子どもの死の概念. 奥山眞紀子編, 病気を抱えた子どもと家族の心のケア, 日本小児医事出版社, 2007 ; 14-19、80-81、164
5. 奥山眞紀子： 被虐待児. 行岡哲男・太田祥一編 山本保博監修, 救急医療の基本と実際 精神・中毒・災害, 荘道社, 2007 ; 103-108
6. 奥山眞紀子翻訳： 第 1 章小児医療心理学の発展分野. マイケル.C.ロバーツ編・奥山眞紀子, 丸光恵監訳, 小児医療心理学. エルゼビア・ジャパン, 2007 ; 3-16
7. 水島栄翻訳： 第 7 章病へのコーピング [対処] 促進と適応強化. マイケル.C.ロバーツ編・奥山眞紀子, 丸光恵監訳, 小児医療心理学, エルゼビア・ジャパン, 2007 ; 89-106
8. 小笠原さゆり翻訳： 第 14 章小児薬理学、精神薬理学. マイケル.C.ロバーツ編・奥山眞紀子, 丸光恵監訳, 小児医療心理学. エルゼビア・ジャパン, 2007 ; 213-225
9. 西間木敦子翻訳： 第 22 章若年性関節リウマチの医学的ならびに心理社会的所見. マイケル.C.ロバーツ編・奥山眞紀子, 丸光恵監訳, 小児医療心理学. エルゼビア・ジャパン, 2007 ; 335-348
10. 柴田光規翻訳： 第 24 章 21 世紀の小児臓器移植. マイケル.C.ロバーツ編・奥山眞紀子, 丸光恵監訳, 小児医療心理学. エルゼビア・ジャパン, 2007 ; 369-381
11. 広瀬宏之翻訳： 第 29 章自閉性障害と精神発達遅滞. マイケル.C.ロバーツ編・奥山眞紀子, 丸光恵監訳, 小児医療心理学. エルゼビア・ジャパン, 2007 ; 435-451
12. 宮尾益知： 注意欠陥／多動性障害. 小児科診療ガイドライン, 総合医学社, 2007 ; 431-434
13. 宮尾益知： Aspergger 症候群に薬物療法の適応はあるか. 五十嵐隆・石井正浩・滝田順子他編, 中外医学社, 2007
14. 宮尾益知： 発達障害をもっと知る本—「生きにくさ」から「その人らしさに」. 教育出版, 2007
15. 宮尾益知編： 気になる子どもへのアプローチ ADHD・LD・高機能 PDD のみかたと対応. 医学書院, 2007
16. 宮尾益知： 発達障害. 仁木鋭雄編, ストレスの科学と健康, 共立出版, 2008 ; 116-121

17. 宮尾益知：アスペルガー症候群 子どもの特性を活かす。辰巳出版，2008
笠原麻里 (分担執筆)：保護者や家族のストレスとその対応。きょうだいへの留意事項。病気を抱えた子どもと家族の心のケア，奥山眞紀子編集，60-69，日本小児医事出版社，東京，2007
18. 笠原麻里 (分担執筆)：発達障害と年齢：診断、対応と治療。児童精神医学的立場から：学童・思春期を中心に。「気になる子ども」へのアプローチ ADHD・LD・高機能 PDD のみかたと対応。宮尾益知編集，86-97，医学書院，東京，2007
19. 小泉智恵：子どもをもつこと、もたないこと：生殖医療と家族の形成 柏木恵子監修 発達家族心理学を拓く。ナカニシヤ書店，印刷中
20. 小泉智恵：教師のストレス。糸井尚子・渡辺千歳編，教育心理学エチュード，川島書店，印刷中
21. 生田憲正：摂食障害。上島国利・上別府圭子・平島奈津子編，知っておきたい精神医学の基礎知識，誠心書房，2007；227-234
22. 生田憲正，鈴木慶子，守屋直樹：精神力動フォーミュレーションに関連した実証研究。（守屋直樹・皆川邦直編）精神分析的診断面接のすすめかた，岩崎学術出版社，東京，2007；115-140

【報告書、その他】

1. 奥山眞紀子：総括研究報告 発達障害者の新しい診断・治療法の開発に関する研究。こころの健康科学研究事業「発達障害者の新しい診断・治療法の開発に関する研究」，平成 19 年度総括・分担研究報告書，2008；1-7
2. 宮尾益知：LD(ディスレクシア)および付随した障害に対する PC(シリアスゲームなど)を使った治療法の開発。こころの健康科学研究事業「発達障害者の新しい診断・治療法の開発に関する研究」，平成 19 年度総括・分担研究報告書，2008；137-142
3. 奥山眞紀子：総括研究報告 児童虐待等の子どもの被害、及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究。子ども家庭総合研究事業「児童虐待等の子どもの被害、及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究」，平成 19 年度総括・分担研究報告書 1/2 2/2，2008；1-14
4. 奥山眞紀子：総括研究終了報告 児童虐待等の子どもの被害、及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究。子ども家庭総合研究事業「児童虐待等の子どもの被害、及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究」，平成 17-19 年度総合研究報告書，2008；1-5
5. 奥山眞紀子：小児総合医療施設(小児病院)における中期研修の試み。子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」，平成 19 年度総括・分担研究報告書，2008；15-26
6. 奥山眞紀子，庄司順一，星野崇啓，長田由貴子：子どもの心の診療システムにおける小

児総合医療施設の在り方 子どもの心の診療実態調査より. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 19 年度総括・分担研究報告書, 2008 ; 27-32

7. 奥山眞紀子: 小児総合医療施設(小児病院)における子どもの心の診療医の育成に関する提言. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 19 年度総括・分担研究報告書, 2008 ; 33-35
8. 奥山眞紀子, 阿部恵一郎: 子どもの心の診療医の研修の国際比較 フランスの研究. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 19 年度総括・分担研究報告書, 2008 ; 36-41
9. 宮本信也, 奥山眞紀子, 齋藤万比古, 市川宏伸: 子どもの心の診療医の「専門性」の検討. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 19 年度総括・分担研究報告書, 2008 ; 131-134
10. 庄司順一, 松寄くみ子, 奥山眞紀子, 根本芳子, 柴田玲子, 松村陽子, 谷口須美恵, 帆足英一, 帆足暁子, 有村大士: 子どもの心の診療に携わるコメディカル・スタッフの育成に関する研究. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 19 年度総括・分担研究報告書, 2008 ; 135-163
11. 奥山眞紀子, 泉真由子, 長田由貴子: 子どもの心の健康支援に関する研究 全国保育園と小・中学校での実態調査の報告. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 5-6
12. 奥山眞紀子, 泉真由子: 小児科と精神科における子どもの心の診療とその教育・研修の実態 小児科・精神科の比較を中心に. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 7
13. 奥山眞紀子, 杉山登志郎: 小児総合医療施設における子どもの心の診療を行う人材育成とチーム医療や連携に関する研究. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 7-8
14. 奥山眞紀子, 庄司順一, 星野崇啓, 長田由貴子: 子どもの心の診療システムにおける小児総合医療施設(小児病院)のあり方 子どもの心の診療実態調査から. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 8
15. 奥山眞紀子: 小児総合医療施設における中期研修の試み. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成のに関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 8
16. 奥山眞紀子: 小児総合医療施設(小児病院)における「子どもの心の診療医」の育成

- に関する提言. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 8-9
17. 奥山真紀子, 氏家武: イギリスにおける児童精神医学卒後研修に関する調査研究. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 13
 18. 奥山真紀子, 広瀬宏之: 子どもの心の診療医の研修に関する日米の比較研究. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 13-14
 19. 奥山真紀子, 阿部恵一郎: 子どもの心の診療医の研修の国際比較 フランスの研究. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 14
 20. 奥山真紀子, 杉山登志郎, 山崎嘉久, 稲坂博, 志水哲也, 有吉允子: 中京地区における発達障害のプライマリドクターのための実践研修講座の試み あいち・こころの診療医研究会の取り組み. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 15
 21. 宮本信也, 奥山真紀子, 齋藤万比古, 市川宏伸: 子どもの心の診療医の「専門性」の検討. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 17-18
 22. 庄司順一, 松寄くみ子, 奥山真紀子, 根本芳子, 柴田玲子, 松村陽子, 谷口須美恵, 帆足英一, 帆足暁子, 有村大士: 子どもの心の診療に携わるコメディカル・スタッフの育成に関する研究(Ⅲ). 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 18-19
 23. 奥山真紀子, 齋藤万比古, 松本英夫, 田中英高, 杉田克生, 塩川宏郷, 野邑健二: 子どもの心の診療医養成のための専門研修用テキスト作成と研修会の開催に関する研究. 子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」, 平成 17~19 年度総合研究報告書, 2008 ; 20-23
 24. 奥山真紀子, 笠原麻里, 泉真由子: 子どもの単回性トラウマによる心的外傷に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業 重度ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究 平成 18 年度総括・分担研究報告書 主任研究者 金吉晴, 18-32, 2007
 25. 奥山真紀子, 笠原麻里, 泉真由子: 子どもの単回性トラウマによる心的外傷に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 こころの健康科学研究事業 重度ストレス障害の精神的影響並びに急性期の治療介入に関する追跡研究 平成 16-18 年度総合研究報告書 主任研究者 金吉晴, 25-38, 2007
 26. 笠原麻里: 神経症性障害. 平成 18 年度厚生労働科学研究補助金子ども家庭総合研究事業「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」(主任研究者 柳澤正

- 義) 一般小児科医に望まれる子どもの心の診療, 2007年9月: 72-78
27. 笠原麻里, 小泉智恵, 辻井弘美, 三井真理子: 軽度発達障害者の育児支援に関する検討. 平成19年度厚生労働科学研究費補助金「ライフステージに応じた広汎性発達障害者に対する支援のあり方に関する研究: 支援の有用性と適応の評価および臨床家のためのガイドライン作成」(主任研究者 神尾陽子) 平成19年度総括・(分担執筆) 研究報告書, 2008年3月: 67-72
 28. 奥山真紀子: 座談会 児童虐待対策の今、そして、これから. 厚生労働11月号, 財団法人厚生労働問題研究会, 東京, 2007; 6-15
 29. 笠原麻里, 小泉智恵, 飯塚有紀, 各務真紀, 辻井弘美, 三井真理: 軽度発達障害者の育児支援に関する検討. 平成19年度厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業)「ライフステージに応じた広汎性発達障害者に対する支援のあり方に関する研究: 支援の有用性と適応の評価および臨床家のためのガイドライン作成」, 平成19年度研究報告書, 2007; 66-72
 30. 清水誠, 生田憲正: 拒食症・その他の食行動異常. 日本医事新報 4349号, 2007; 72-75

【学会発表】

1. Okuyama M, Fujiwara T, Matsumoto T, et al: Proposed Diagnosis Criteria for Inflicted Head Injury of Children Younger than Two Years of Age (Oral Presentation). ISPCAN (International Society for Prevention of Child Abuse and Neglect) VII Asian Regional Conference, Manila, 2007.9.25
2. Okuyama M: Adolescent Medicine in Japan (invited lecture). the 57th Korean Pediatric Society Annual Congress, Seoul, 2007.10.19
3. Okuyama M, Izumi M, Fujiwara T, Osada Y: The Impact of DV and the Mothers' Maltreated experience of Children (New Research Poster Session). AACAP (American Academy of Child and Adolescent Psychiatry) 54th Annual Meeting, Boston, 2007.10.25
4. Ikeshita H, Kato R, Kawai T, Sato T, Yamagata H, Yamazaki T, Miyao M: Using 3D Displays To Teach Japanese Characters to Children with Developmental Dyslexia, The 2nd RIKEN BSI and Oxford-Kobe International Symposium, Kobe, 2007.4.15-16
5. Wakaba Y, Minami M, Mori K, Miyao M, Tanimura M, Gondo M: Study of effect on school age children who stutter by delayed auditory feedback, The 27th World Congress of International Association of Logopedics and Phoniatrics, Copenhagen, 2007.8.7
6. Ikeshita H, Kato R, Kawai T, Sato T, Yamagata H, Yamazaki T, Miyao M: Playing

Styles of Children with Mild Developmental Disabilities in Video Games ,
DiGRA2007 Situated Play International Conference, Tokyo, 2007.9.25

7. Murakami Y : De la subjectivité chez les autistes et la subjectivité chez les normaux, Association pour la promotion de la phénoménologie, Toulouse, 2008.2.8
8. 奥山真紀子 : 愛着とこころの発達 パネルディスカッション 動く「こころ」を読む - 医学の原点、こころを探す旅 - . 第27回日本医学会総会, 大阪, 2007.4.8
9. 奥山真紀子, 藤原武男, 松本務, 有瀧健太郎, 余谷暢之 : 医療機関における子ども虐待(SCAN)チームの有用性の検討(一般口演). 第110回日本小児科学会学術集会, 京都, 2007.4.21
10. 奥山真紀子 : 医療現場から 共同研究「児童虐待防止に向けて」パネリスト. 日本被害者学会第18回学術大会, 埼玉県草加市, 2007.6.9
11. 長田由貴子, 奥山真紀子, 泉真由子 : 母親のDV体験と子どもの精神保健～母子生活支援施設での調査から～(一般口演). 第97回日本小児精神神経学会, 東京, 2007.7.1
12. 広瀬宏之, 西間木敦子, 宮尾益知, 奥山真紀子 : 子どものトラウマに対する漢方治療の試み. 第97回日本小児精神神経学会, 東京, 2007.7.1
13. 西間木敦子, 広瀬宏之, 中野三津子, 宮尾益知, 奥山真紀子 : こころの診療部における漢方薬使用の経験. 第97回日本小児精神神経学会, 東京, 2007.7.1
14. 奥山真紀子 : 子どもの心の診療体制の構築について～発達障害/ADHDを中心に ランチョンセミナー. 第49回日本小児神経学会総会, 大阪, 2007.7.6
15. 笠原麻里 : DVにさらされて育つ子どもの精神的問題. JSPOG セミナー, The XV International Congress of The International Society of Psychosomatic Obstetrics and Gynecology, 13-16, May 2007, Kyoto
16. 笠原麻里 : 学童期・思春期年代の子どもの自殺行動について. 第44回日本犯罪学会総会シンポジウム, 2007年12月1日, 東京
17. 鈴木繭子 : 学童期: 高機能広汎性発達障害の心理療法—社会性の観点から—. 日本自閉症スペクトラム学会第6回研究大会自主シンポジウム「自閉症の認知障害とその帰結」, 東京, 2007.8.25
18. 滝澤孝子, 松本美江子, 宮尾益知 : 思春期高機能広汎性発達障害の心理療法～リラクゼーションの視点から～. 日本自閉症スペクトラム学会第6回研究大会自主シンポジウム, 東京, 2007.8.25
19. 鈴木繭子, 宮尾益知, 五十嵐一枝 : 学童期: 高機能広汎性発達障害の心理療法—社会性の観点から—. 日本自閉症スペクトラム学会第6回研究大会自主シンポジウム「自閉症の認知障害とその帰結」, 東京, 2007.8.25
20. 松本美江子, 滝澤孝子, 宮尾益知 : 思春期、成人期: 高機能広汎性発達障害の心理

療法－認知行動療法から－。日本自閉症スペクトラム学会第6回研究大会自主シンポジウム「自閉症の認知障害とその帰結」，東京，2007.8.25

21. 池田華子，渡邊克巳，小笠原さゆ里，宮尾益知：高機能広汎性発達障害の視覚・運動認知過程。日本自閉症スペクトラム学会第6回研究大会自主シンポジウム「自閉症の認知障害とその帰結」，東京，2007.8.25
22. 村上靖彦，松本美江子，広瀬宏之，宮尾益知：高機能広汎性発達障害の自我形成仮説。日本自閉症スペクトラム学会第6回研究大会自主シンポジウム「自閉症の認知障害とその帰結」，東京，2007.8.25
23. 鈴木繭子，山下貴子，五十嵐一枝：自閉性障害青年における個別的ソーシャル・スキル・コミュニケーション・プロジェクトの試み【その1】。日本特殊教育学会第45回大会，神戸，2007.9.13
24. 鈴木繭子，小笠原さゆ里，宮尾益知，奥山眞紀子，酒井裕子，五十嵐一枝，高田治，四方耀子：被虐待児における認知特性－神経心理学的検査から－。第98回小児精神神経学会，栃木，2007.10.26
25. 若葉陽子，南めぐみ，宮尾益知：吃音の初期段階の進展。第52回日本音声言語医学会，東京，2007.10.27
26. 西間木敦子，生田憲正，奥山眞紀子，小林由典，道端伸明，高山ジョン一郎：言語的対話が困難な脳腫瘍思春期症例における疾患受容への関わり。第48回日本児童青年精神医学会総会，岩手県盛岡市，2007.10.31
27. 奥山眞紀子：子どもの司法面接(パネラー)。第48回児童青年精神医学会総会，岩手県盛岡市，2007.11.1
28. 鈴木繭子，宮尾益知，奥山眞紀子，五十嵐一枝，高田治，四方耀子：被虐待児における学業不振および行動上の問題とその病態－1 認知的側面から－。第48回日本児童青年精神医学会総会，岩手県盛岡市，2007.11.1
29. 小笠原さゆ里，宮尾益知，広瀬宏之，中野三津子，池田華子，渡邊克巳：発達障害児における”手続き記憶”の形成過程とその問題点。第48回日本児童青年精神医学会，岩手県盛岡市，2007.11.1
30. 奥山眞紀子：子ども虐待の発見と防止(講演)。第4回京都小児救急疾患研究会，京都，2007.11.10
31. 奥山眞紀子：思春期の子どものこころ(講演)。第32回東日本小児科学会，東京，2007.11.23
32. 池下英恵，河合隆，宮尾益知：学習障害児における漢字書字の学習支援。第16回日本LD学会，横浜，2007.11.23
33. 水島栄，鈴木繭子，宮尾益知：選択性緘黙児へのCyclical Approachの有効性－姉妹例を通して－。第9回子どもの心・体と環境を考える会学術大会，東京 国立成育医療センター，2007.11.23

34. 小泉智恵: 先天性異常児とご両親への出生前からの心理療法士の関わり. 東京新生児研究会, 東京, 2007. 12. 8
35. 水島栄, 泉真由子, 大川千尋: プレイセラピー研究—臨床と研究の狭間で—. 日本子ども虐待防止学会第13回学術大会, 三重県津市, 2007. 12. 13
36. 奥山真紀子, 藤原武男, 長田由貴子, 松本務, 有瀧健太郎, 余谷暢之, 野坂俊介, 宮坂美木子, 仁科幸子: 虐待による頭部外傷(一般口演). 日本子ども虐待防止学会第13回学術大会, 三重県津市, 2007. 12. 15
37. 実方由佳, 奥山真紀子, 笠原麻里: Munchausen Syndrome By Proxy の症例における〔接近困難性〕に対する一考察(一般口演). 日本子ども虐待防止学会第13回学術大会, 三重県津市, 2007. 12. 15
38. 奥山真紀子: DV 被害後の母子関係再構築への支援(シンポジウム). 日本子ども虐待防止学会第13回学術大会, 三重県津市, 2007. 12. 15
39. 鈴木繭子, 宮尾益知, 奥山真紀子, 酒井裕子, 五十嵐一枝, 高田治, 四方耀子: 被虐待児における学業不振および行動上の問題とその病態—感情認知を中心に—. 日本子ども虐待防止学会第13回学術大会, 三重県津市, 2007. 12. 15
40. 小泉智恵, 笠原麻里, 各務真紀, 飯塚有紀, 三井真理, 辻井弘美: 不妊治療により妊娠した女性のメンタルヘルス: 自然妊娠女性との比較. 日本生殖医療心理カウンセリング学会第5回学術集会, 東京, 2008. 2. 3
41. 鈴木繭子, 五十嵐一枝, 宮尾益知: 「女の子の服が着たい」ことを主訴として来院し、発達上の問題がみられた5歳男児例についての一考察. 関東子ども精神保健学会第5回学術大会, 東京, 2008. 3. 16
42. 鈴木繭子, 宮尾益知, 五十嵐一枝: 被虐待児における学習効果. 関東児童青年医学会